

# ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行: 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地  
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ  
だより  
No. 451

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



なかまちテラスの一角にあるカフェです。図書館で借りてきた本を読みながらお茶を飲んだり、公民館の帰りにお仲間とおしゃべりしたり。

カフェで働く

CAZE CAFE なかまち





# サングリーン特集！ 縫製作業の星班はきょうさねんふきんとリコーダー袋をやっています！

四月から職員体制やメンバーの作業班の異動もあり、星班はメンバー十一名、職員三名でスタートしました。主な仕事はきょうさねんふきんの製造や海外輸出向けのリコーダー袋の製造です。リコーダー袋の製造は昨年十月から始まりました。始めた当初は少ない人数で、ミシンを使う工程はほとんど職員の仕事でした。まずは職員が作業工程を理解し、細かい工程をどうメンバーに関わってもらおうかと考え工夫をしてきました。毎月の納品数が千本程度だったものが、徐々に生産量が増えていきました。四月から作業班の人数が増えたことやミシンを使うメンバーが増えたこともあり生産量はぐっと伸びて二千本を達成できそうな勢いです。作業工程は、布切り・口折りアイロン・口縫い・重ね縫い・ペビロックかけ・口返し縫い・角返し縫い・糸始末・糸ほどき・シールあて・シールアイロン・ひも通し・ひも結び・ひも切り・シール切りととても細かい分れていますが、手間のかかる作業ですが、ひとつひとつ丁寧に仕上げ、心をこめて安定した本数を生産できるように日々努力しているところです。きょうさねんふきんの製造も同時進行で行っているため、卸の注文が入った時や東都生協の出荷が重なったときはとても忙しく、ミシンをフル回転させ、作業室にはインターロックの音が鳴り響いています。

## サングリーン 星班（縫製作業）



口縫い



ひも結びをして完成



ひも通し

サングリーンには三つの作業班があります。ダイレクトメールの発送作業や石鹸作業を行う虹班、調理や焼き菓子製造を行う宇宙班（そら）、きょうさねんふきんや縫製作業を行う星班です。今回は星班の作業の様子をご紹介します。

## ☆サングリーン商品紹介☆

宇宙班（そら）で製造している商品です。  
小平産のブルーベリーを使ったジャムと卵不使用のクッキーを製造



ブルーベリージャム



クッキー（ココア・ピーナツ・紅茶）



ふきんのインターロック

## ～星班メンバーの声～

◆ミシンをしたり、リコーダー袋の作業をしています。仕事で何かを作ったり、形になっていくのがとても楽しいです。毎日充実しています。S・I

◆4月から縫製作業をするようになり2か月が経ちました。ハサミを使ったり細かい作業だったり、器用な方ではないので最初はごちなかったですが、だんだん慣れてくると作業が面白くなってきました。最近ミシンも使い始めました。使ったことがなかったので不安でまっすぐ縫うのも大変でした。未だに苦労して使っていますが楽しさも出てきました。これからも色々覚えて一生懸命作業に取り組みたいと思います。N・S

### きょうされん第40次国会請願行動に参加して

去る5月25日、きょうされんでは、第40次国会請願行動を行い、全国各地で集めた100万筆を超えた署名を携え国会議員を訪問しました。また、昨年度に引き続き厚生労働省と交渉し、5政党と政党懇談会をもちました。

私たちは、きょうされん東京多摩中部ブロック代表団の一員として、職員と所員の他に初めてあさやけ作業所とあさやけ風の作業所の家族も加わり参加してきました。一日かけて、実際に14名の議員事務所を尋ね、国会請願署名の取り組みと請願内容を議員や秘書に伝え、紹介議員になってもらえるように依頼して回りました。

政党懇談会では、民進党の初鹿明博議員と障害者福祉について意見交換を行いました。



共産党 吉良よし子議員に署名を渡しました。



社民党 福島みずほ議員と。

### 見て、びっくり、国会請願行動

あさやけ風の作業所 大西光子

きょうされんの第40次国会請願行動に初めて参加致しました。今まで、毎年みんなで署名活動をして、その署名を国会に請願していた事は知っていました。あさやけでは、家族が参加したのは初めてでした。

永田町で降りて参議院会館に到着しました。受付で通行証を受け取り、講堂に入って座る席もないほどの大勢の人にびっくりしました。北は北海道から南は沖縄まで、各県からきょうされんに加盟している作業所などの人が370名以上集まっていました。障害のある人も参加していました。集まった署名数は103万筆に達している事、びっくりする事ばかりでした。講堂で専務理事の藤井克徳氏の話聞き、63班に分かれて議員事務所を訪問しました。あさやけは22班で、6名で行いました。藤井氏の話はわかり易く、議員を訪問するなんて緊張気味の参加者にエールを送って下さいました。

思えば藤井氏は、息子が小平養護学校に入学した時は、養護学校の先生でした。あさやけ作業所の中川所長も先生でした。その後、あさやけ作業所の設立からきょうされんの創設の為に、全国をかけまわっていらっしゃいました。このようなきょうされんの発展ぶりを目の当たりにして、感慨深いものがありました。

運動を継続することの重要性を改めて痛感させられました。来年からは、家族の参加をおすすめ致します。

追伸、議員会館の食堂は安くておいしいよ。

尚、国会請願行動は終了しましたが、署名・募金はその後も集まっており、最終的な集約がまだ終わっていませんので、署名数と募金額は、次回あさやけだより7月号にてご報告いたします。署名・募金へのご協力ありがとうございました。

あさやけ署名推進委員会 中島葉子

## 私たちの作品を見に来てください!

### ～アートフェスティバルのご案内～

#### あさやけ風の作業所絵画クラスを語る

##### ～ 登場人物 ～

ヒロ君 (風の作業所 絵画クラブメンバー)  
ニシさん (アートフェスティバル実行委員)  
ヤスさん (某作業所職員) (文中敬称略)



みんなの作品



みんなヤスさん、ヒロ君、ニシさん (左から)



絵画クラブの道具



各自のお道具



顔シリーズ



恐竜シリーズ



作業所内に展示

ニシ いよいよ今年もアートフェスティバルが近づいてきましたね」

ヒロ 「今年で3回目です。」

ヤス 「年々内容が充実してきましたね。」

ニシ 「昨年は風の作業所では、クローズアップ作品の恐竜シリーズが注目を集めました。」

ヒロ 「あの作品は人気でしたね。グッズがほしいという方もいました。」

ヤス 「注目という意味では、ヒロさんの顔シリーズも負けてませんでしたよ。」

ヒロ 「そうですか。恐縮です。」

ニシ 「しかし毎回同じ顔に描けるものですね。」

ヒロ 「あれは同じに見えて、実はひとつひとつ一人一人違うんですよ。そここのところ見てほしいですね。」

ニシ 「そうなんですか!失礼しました。」

ヤス 「私も最近ようやくその違いがわかってきました。」

ヒロ 「ほんとですか。うれしいです。」

ヤス 「一緒に絵画クラブで過ごした仲間じゃないですか。わかりますよ。」

ヒロ 「ありがとうございます。」

ニシ 「今年も会期中の7月3日の午前中に、風の作業所の講師の方が作品の講評をしてくださいね。」

ヒロ 「楽しみです。やはり専門家の意見を聞けるのは私たちにとっても励みになりますから。」

ヤス 「当日は風名物のスコーンや、クッキー、ケーキも販売するんですよ。」

ヒロ 「もちろんです。おいしいですよ!」

ニシ 「ところで風の作業所の絵画クラブは、今何名ですか?」

ヒロ 「11名です。職員は3名。毎週水曜日の午後が活動時間です。」

ヤス 「風の作業所は道具が充実していると評判です。」

ヒロ 「そうなんですよ。個人個人の道具なんですよ。」

ニシ 「うらやましいです。太っ腹な所長さんですね。」

ヒロ 「より良い作品を生み出すためには道具はとても大切です。その人その人で描きやすい道具が違いますから。私も黒マジックの色が薄くなってきたのでそろそろ新しいのがほしいです。今度お願いしようと思います。」

ヤス 「また新たな顔シリーズがうまれるんですね。」

ヒロ 「はい。進化する顔シリーズです。」

ヤス 「なるほど。」

ニシ 「今年のアートフェスティバル、風作業所のみなさんの個性的な作品に出会えるのを楽しみにしています。」

ヒロ 「お待ちしております。」

**ASAYAKE ART FESTIVAL**

あさやけアートフェスティバル2017  
2017/6/30(金)~7/4(火)

フシギなチカラが  
ここに  
ある

参加団体  
あさやけ作業所  
あさやけ第二作業所  
サンダリーン  
あさやけ風の作業所  
あさやけ鷹の台作業所  
グループホーム一歩  
地域生活支援センターあさやけ  
おだまき工房  
みーとほびな二(NPO法人ともこネット)

主催 あさやけアートフェスティバル2017実行委員会  
後援 小平市社会福祉協議会  
お問い合わせ あさやけ鷹の台作業所 042-348-2167

ルネこだいら展示室  
10:00~18:00(最終日15:00まで)

同時開催  
なかまちテラス内  
CAZECAFÉなかまち  
11:00~17:00

**6/30(金)~7/4(火)**

廃品回収のお知らせ

5月の廃品回収の回収量は13,075kgでした。内訳は新聞9,550kg、雑誌・ダンボール3,525kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて202,845円でした。

**次回は7月15日(土)が回収日です。**

雨天の場合は中止とさせていただきます。